

カメムシ防除をしましょう

今年もカメムシによる被害「斑点米」が予想されます。
適切な防除でカメムシによる「斑点米」の被害を防ぎましょう。



頂部加害粒



無差別加害粒



側部加害粒

主な被害粒



ホソハリカメムシ
体長9～11mm。
肩の部分が鋭く尖っています。出穂1週間後～3週間後によく見られます。



アカスジカスミカメ
体長4.6～6mm。
背中に一本の赤い線が入っています。出穂期～2週間後によく見られます。



クモヘリカメムシ
体長15～17mm。
細長い体型が特徴的です。出穂1週間後～3週間後によく見られます。

斑点米をおこすカメムシ類の特徴

アカスジカスミカメ等は、口針が弱い
ため主に頂部加害粒、側部加害粒の
斑点米を形成し、
大型のカメムシ類
は無差別加害粒の
斑点米を形成します。



出穂直前の茎の様子。
(茎が透き通って開きかけている状態)

出穂2週間前までに畦畔の草刈りを行いましょ。班点米をおこすカメムシ類は水稻出穂前はイネ科の雑草に生育し、水稻の出穂とともに水田に移動します。
出穂2週間前までに草刈りを行い、斑点米をおこすカメムシ類の生息地をなくしましょ。
逆に出穂以降は草刈りを行うと水田に移動するので、**出穂後は草刈りを行わないようにしましょ**。
刈り取り後の雑草は、**水路等に流れないように気をつけましょ**。
※出穂期とは、圃場全体の茎のうち、半数程が出穂した時期をいいます。生育の早い茎から穂が見え始めたら、2～3日間隔で圃場を観察し出穂の様子を確認するようになしましょ。

耕種的防除

出穂2週間前までに畦畔の草刈りを行いましょ。

薬剤防除 出穂5～7日後に薬剤散布をしましょ。

薬剤名	散布量	使用時期/使用回数	備考
スタークル豆つぶ	250g/10a	収穫7日前まで/3回以内	粉剤、粒剤と違って、手まき、ひしゃく散布が可能です。田んぼに入らなくても散布することができます。
スタークル粒剤または粉剤DL	3kg/10a	収穫7日前まで/3回以内	粉剤は飛散するので、散布時は、風の強さ、散布機の操作方法等を確認しましょ。また、住宅が密集している地域では使わないようにしましょ。
トレボン粉剤DL	3～4kg/10a	収穫7日前まで/3回以内	

※発生が多い場合は、10～14日後に追加散布をしましょ。



この時期になったら薬剤を散布しましょ。
(穂が少し傾いた時期)

Check 水稻の収穫前の水管理

稲は穂ばらみ期が一番水を必要とする時期です。※穂ばらみ期→出穂前18日頃から出穂期までの期間。

穂ばらみ期後も少なくとも出穂後30日間は土壤を湿润状態に保ちましょ。落水が早いと痩せた米になります。

